

地域とともにある
学校づくり

えべつ型コミュニティ・スクール

えべつCS通信

江別市教育委員会 教育部 総務課



「えべつ型CS」地域とともにある学校づくり【実践例紹介】

江別市の伝統（教育のまち：オール江別で子どもを育てる）を基盤として、学校・家庭・地域が連携・協力して子どもを育てる持続可能な仕組みを持った学校づくりを行う「えべつ型コミュニティ・スクール」の実践例を、紹介します。

野幌中 「防災教育」 《地域と備える》

野幌中学校では、生徒に、生命の大切さや社会参画意識の高揚、地域住民としての自覚等、これからの生活にとって必要な認識を育てるために「防災教育」を行っています。

昨年までの2年間で、「避難所用間仕切り作成体験」（段ボールによる間仕切り体験）と「クロスロード」授業（避難所の抱える諸問題を仮想課題として生徒たちが対策や改善方法を考える授業）を経験してきた3年生が、今回「HUG」（避難所運営ゲーム）の授業に取り組みました。

※昨年までの取り組みは、平成30年1月発行の第7号に掲載しています。

《HUG》～避難所運営ゲーム

平成30年8月28日（火）に、江別市総務部危機対策室の協力でHUGの授業を行いました。



授業は、3年1組～3組のクラスごとに行われ、HUGは、Hinanjio（避難所）、Unei（運営）、Game（ゲーム）の頭文字を取ったもので、英語で「抱きしめる」という意味も含み、避難者を優しく受け入れる避難所というイメージと重ね合わせているとの説明で始まりました。



続いて、1995年の阪神・淡路大震災と2004年の新潟県中越地震での避難所の写真を見比べた後に、避難所運営を困難にさせる要因～避難所がどんな環境であり、どんな人が避難し、どんな生活となるのか～を班ごとに話し合い、発表しました。その後、洗い出した要因を踏まえ、避難所運営をスムーズにする方法として、野幌中が避難所になるとしたら、①どんな環境にしたらよいか。（部屋割り、スペース作り、情報共有など）②どんなルールがあるとよいか。③自分たちには何ができるか。この3点について、班ごとに話し合い、結果を発表しました。生徒からは、高齢者や体の不自由な人の部屋は、1階に配置し、緊急時には、外に出やすいように非常口に近い場所にするとか、事故を防ぐ為に、2箇所ある階段は一方通行にして、廊下も右側通行にするなどのアイデアが披露されました。最後に講師の佐藤圭介さんから、「中学生にできることは多く、中学生にしかできないこともたくさんある。中学生が行動することで、他の避難者が勇気づけられたり、自分もやらなきゃと気付いたりする。決して無理をする必要はないが、やってみようと思ったら、迷わずに行動して欲しい。」とのアドバイスがありました。



決して無理をする必要はないが、やってみようと思ったら、迷わずに行動して欲しい。」とのアドバイスがありました。

平成29年度学校評価の結果について・・・【その2】「主な意見」

学校関係者評価の中で出された、代表的な意見を紹介します。

◎評価の項目設定、評価の個別または全般に対するもの

- 評価項目の設定、達成状況、改善の方策とも、ほぼ良い。先生方の日常の努力や工夫が伝わってくる。
(野幌若葉小)
- 1年間の学校の教育活動や評価活動が詳しく計画的に推進されていることがわかった。
(野幌中)

◎分野に関わる改善方策や日頃感じていることなど

①保護者アンケートに関すること

- 保護者アンケートなどで出てくる保護者の意見・要望・学校の見解・学校経営方針など、たいへん貴重な資料で、生きた教育実践に繋がる。
(文京台小)
- 保護者アンケートについて、一人からの記述であっても、文字に起こすと大事に見える。一つの意見にとらわれ過ぎないように気をつけながらも、声なき声もあると考え、一つ一つに丁寧に説明し誠実に対応していくことが必要である。
(大麻中)

②学校と地域・家庭との連携

- 道徳教育・外国語活動など新たな取り組みが学校に求められているが、外部人材の活用などを通して充実させて欲しい。地域としても協力していきたい。
(対雁小)
- 昨今の情勢からも、家庭との連携は、より丁寧にしていくことが重要である。
(第一中)

③児童・生徒指導に関すること

- 「いじめ防止」をはじめ生徒指導については、学校内で「報・連・相」を密にとり、保護者アンケートでほぼ達成以上が9割を超えることを努力目標に取り組んでほしい。
(大麻東小)
- 生徒指導の「いじめ」について、学校での取り組みは十分行われていると考える。自己評価のBは、やや過小評価であると考え、自己評価の適切さをBとする。
(第三中)

④教職員に関すること

- 先生方が子ども達のために、学習面や生活面で一生懸命取り組んでいる姿が見て取れます。自己肯定感の低さが気になりますが、これからも子どもたちの気持ちに寄り添ったご指導をよろしくお願いします。
(豊幌小)
- 先生方は子どもとしっかり向き合っており、熱心に学習指導や生活指導に取り組んでいる。体を大事にしながら、これからも子どもたちのためにがんばってほしい。
(大麻泉小)

⑤教育課程・学習指導に関すること

- 学習では、「江別太小学びのスタイル」を全校統一したのものとして全職員で取り組んでいることは、毎年、学年やクラスが変わる毎に学習の流れが違い、慣れるまでに時間がかかるより、児童にも分かりやすく大変よい。
(江別太小)
- 結果ではなく過程を重視して指導していることがわかり、子どもたちがぐっと成長している姿が見られる。
(大麻小)

⑥今日的な教育課題

- 情報モラルについては、各家庭や学校でも大きな課題の一つである。しっかりと情報機器の扱い方について教えるとともに、市内小中学校で制定された「江別スマート4ルール」について、全校で共通の取組を進めてほしい。
(大麻西小)
- 危機管理については、地域と連携するなど、生徒個々のスキルを上げる避難訓練を行うことが重要である。
(第二中)

⑦その他

- 今後も子どもたちの成長を目指し、様々な方策を用いて学校運営を行っていただきたい。(いずみ野小)
- とてもいい取り組みに思っています。また、部活動においても素晴らしい成績を収める等、生徒への励みになり、学校としても良いことにつながると思っています。そして制服のリサイクルはとても良い取組だと思います。
(中央中)